

伊万里市立山代中学校 教育相談だより

ほのぼの



2025. 11. 11

No.7 文責 浦崎 森戸

☆教育相談週間が始まります

2学期も残り2か月となりました。今年の文化発表会も「学習発表の場」にふさわしく、見ごたえのあるものとなりました。体育大会同様、生徒の成長を見ることができ、大変うれしく思いました。

2学期の大きな行事が終わったところで、「教育相談週間」のお知らせをいたします。

11月5日（水）から11日（火）まで教育相談期間です。

1 目的と時間

「教育相談」は、生徒の皆さん一人ひとりが、先生方と話をして、

- ① 皆さんが抱えている悩みなどを相談して、少しでもスッキリした気持ちになること。
- ② 普段なかなか言えない自分の気持ちをわかってもらうこと。などを主な目的として行います。

2 内容と約束事

「教育相談」では、

- ① 今の自分の気持ちを、正直に話してみましよう。決して怒られることはありません。そして、先生に自分のことをよく理解してもらいましょう。
- ② わからないこと、困っていること、迷っていること、我慢していることなどがあれば、思い切って相談してみましよう。大きな悩みになる前に、また、複雑な問題になる前に相談しましよう。「話す（聞いてもらう）」だけでも、気持ちが楽になったり、解決のヒントが見えてきたりするかもしれません。
- ③ 話したくないことは、無理して話さなくても大丈夫です。先生に聞いてほしくなったとき、話したくなったときに話してください。
- ④ 秘密にしてほしいことは、他言しません。安心して相談してください。

☆ 12月のスクールカウンセラー来校日

12月16日（火）

12月の浦崎先生の来校予定日は、上記のとおりです。ご希望のある方は、事前に学級担任に連絡をされるか、下記の教育相談担当（野口）まで連絡いただければ、時間を調整いたします。

☎ 山代中学校 28-2026

裏面には保護者の皆様へホッとメッセージです



【ほっとメッセージ】

やっと秋らしい 11月

2学期が始まって暑さは続き、「この暑さはいつまで続くのだろう。」「秋はやってくるのか？」などと思いつつ過ごした10月でした。

そのような中でも、生徒たちは学校生活や学校行事に頑張っており取り組んでいます。このような学校生活や学校行事への取り組みが、生徒たちにとって自分自身を鍛え上げる場・時間となります。

また、生徒にとって楽しく思えたり、嬉しく思えることもあります。時には苦手なことだったりうまくいかないこと、友達とのやり取りで悩んだりすることもあります。

おそらく、そんな時お家の方は、自分のこと以上に心を痛め心配されることだと思います。逆に、中学生の皆さんは心配をかけたくないと思ったりするでしょう。家族を思う心をあらわした、有名な句を知っていますか？

「親思う 心にまさる親心 けふのおとずれ 何ときくらん」



この句は明治維新の原動力となった多くの幕末の志士を輩出した松下村塾を作った吉田松陰の辞世の句（死を前にしてこの世に書き残された詩的な短文）の一つです。

意味は、「子どもが親を思う気持ちよりも、親が子どもを思う気持ちの方が強いことだろう。今日の処刑の知らせをどんな気持ちで聞くのだろう」と、親の気持ちを想像しながら詠んだ切ない句です。

親に限らず、大切に思っている人が、辛い思いをしたり悲しんでいたりすると本当に心が痛みます。また、誰かにつらい思いをさせたり、つらく当たっていることを知れば、何か不安や悩みがあるのか、心のあり方を心配します。

学校生活や行事の中では、色々な困難が生じますが、それを克服するための経験を通して、よりよく成長してほしいとお家の方をはじめ、私たち大人は皆さんに期待しています。また、手助けをしていきたいと思っています。

10月に行われた文化発表会では、様々な経験をしながら、成長した皆さんの様子を見ていただきました。これからもさらに経験を重ね、成長した皆さんの姿を、お家の方や地域の方などにも、見ていただきたいと思っています。

お家の方々も、お忙しいこととは思いますが、お時間の許す限り、子どもたちの取り組んできた様子や、実際に活動する様子を今後もぜひ見守っていただきたいと思っています。学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。